

## 学内グラント 報告書

平成24年度 学内グラント終了後報告書

## 発達期体性感覚野スパイクタイミング可塑性における BDNF の役割

研究代表者 伊丹 千晶 (医学部 生理学)

## 研究成果リスト

## 学会発表

- 1) Itami C, Huang J-Y, Lu H-C, Kimura F. Cannabinoid receptor mediated spike timing-dependent plasticity at thalamocortical synapses in the developing mouse barrel cortex, Society

for Neuroscience 2013 (43<sup>th</sup> Annual meeting), November 2013, USA

- 2) 伊丹千晶, Huang E J-Y, Lu H-C, 木村文隆. 発達期バレル皮質における視床皮質投射のスパイクタイミング依存性可塑性の性質, 第36回日本神経科学大会, 平成25年6月, 京都

uPA 感応性センダイウイルスベクターを用いた  
 卵巣がんの新規治療法の開発

研究代表者 宮良 晶子 (国際医療センター 婦人科腫瘍科)

## 研究成果リスト

## 学会発表

- 1) 宮良晶子, 長谷川幸清, 上田泰次, 井上誠,

藤原 恵一. urokinase-type plasminogen activator 特異的に腫瘍溶解性を示すセンダイウイルスベクターの卵巣がん治療への応用, 第35回分子生物学会, 2012年12月, 福岡

TRPM1 チャネルを介した網膜内シナプス伝達は  
 体温で最適化されているのか?

研究代表者 田丸 文信 (医学部 生理学)

## 研究成果リスト

## 学会発表

- 1) Tamalu F, Watanabe S-I. Mechanisms of synaptic

transmission mediated TRPM1 channels between retinal rod bipolar and AII amacrine cells, 第91回日本生理学会大会, 平成26年3月, 鹿児島